

# 令和4年度

## 武蔵野市非核都市宣言平和事業の記録



平和の日イベント講演会  
「出会いこそ、生きる力」



武蔵野市青少年平和交流派遣事業



憲法月間記念行事講演会  
「第九条」上映&監督トークショー



武蔵野市非核都市宣言  
平和事業実行委員会研修会

## 武蔵野市 非核都市宣言平和事業実行委員会



## 平和の日メッセージ

昭和19(1944)年11月24日、武蔵野市が初めて空襲を受けてから、78年が経ちました。

当時この地には、ゼロ戦などの戦闘機のエンジンを製造していた中島飛行機武蔵製作所という軍需工場がありました。この工場は東洋一と言われるほど大規模で、米軍による本格的な本土攻撃の第一目標となりました。終戦までに空襲は9回を数え、工場関係者200名以上が犠牲となり、周辺地域でも多くの住民が巻き添えとなりました。

武蔵野市では、この空襲で犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、戦争の記憶を継承し、平和の尊さを次世代につないでいくために、平成23(2011)年に武蔵野市平和の日条例を制定し、初空襲のあった11月24日を「武蔵野市平和の日」と決めました。

今年は、武蔵野市市制施行75周年を迎える節目の年です。武蔵野市平和の日条例の前文には、「市民とともに国際相互理解の推進に努め、恒久平和の実現を目指すことを誓う」とあります。

本年2月のロシアによるウクライナ侵攻など、世界各地では国内・国際的な紛争が続いています。未来の子どもたちに戦争も核もない平和な世界を継承していくために、国内外の自治体と連携し、これからも戦争の悲惨さと平和の尊さを武蔵野市から積極的に発信し続けてまいります。

戦争を体験された方から直接体験談を聞く機会も大変貴重になっています。私たちには、この「体験の記憶」を語り継いでいく使命があります。貴重な記憶を風化させず、未来へつないでいくため、今後も若い世代に武蔵野の空襲の歴史や戦争体験の記憶を継承しながら、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えていく活動を市民の皆様とともに取り組んでまいります。

2022年11月24日

武蔵野市長 松下 玲子

## ま え が き

武蔵野市議会では、昭和 57 年 3 月 29 日に非核都市宣言を行いました。

平成 19 年には、その宣言から 25 年を迎えたことを機に、地域・平和団体、大学生、公募市民などで構成する非核都市宣言 25 周年記念事業実行委員会が設置され、翌 20 年に現在の「非核都市宣言平和事業実行委員会」となり、それ以降、写真パネル展や映画上映会、講演会、子ども向けイベントの企画・運営など様々な平和啓発事業を実施してまいりました。また、平成 23 年には、中島飛行機武蔵製作所が初めて空襲を受けた 11 月 24 日を「武蔵野市平和の日」とする条例が制定されました。

武蔵野市市制施行から 75 周年を迎えた今年は、憲法月間記念行事、平和の日イベントに加え、青少年平和交流派遣事業として 12 名の中高生を長崎市に派遣しました。

戦争体験者の高齢化により、戦争について直接お話をうかがう機会も少なくなっています。一方、平和をめぐる世界情勢の不安定化、市民の生活環境の変化等があるなかで、さまざまな平和関連イベントを通して、次世代へ戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぐため、戦争体験の伝承を継続し、平和への意識を高めていく事業を引き続き行ってまいります。

本書は、令和 4 年度に行われた非核都市宣言平和事業の記録集です。

## 目 次

### I 令和4年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の実施状況

- 1 武蔵野市市制施行75周年記念事業 憲法月間記念行事・・・・・・・・・・ 1
- 2 夏季平和事業『戦争も核もない世界を武蔵野から』・・・・・・・・・・ 2
- 3 武蔵野市市制施行75周年記念事業 青少年平和交流派遣事業・・・・・・・・ 3
- 4 武蔵野市市制施行75周年記念事業  
平和の日イベント『戦争も核もない世界を武蔵野から』・・・・・・・・ 4
- 5 実行委員会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

### II 令和4年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に

- 参加した実行委員からのメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

令和4年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会 委員名簿

選出分野	氏名	団体名
市民団体・大学生	高橋 淳子	武蔵野市コミュニティ研究連絡会
	大上 茂雄	武蔵野市市立小中学校PTA連絡協議会
	木川 憲子	武蔵野老人クラブ連合会
	加藤 舞	大学生
	中野 綾音	大学生
平和関連団体	牛田 守彦	武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会
	中里 崇亮	世界連邦運動協会 武蔵野支部
	藤本 竹次	武蔵野けやき会
	田村 恭子	武蔵野市国際交流協会
公募委員	伊東 正晴	市内在住
	北山 征一	市内在住
	栗原 久仁子	市内在住
	小餅 友子	市内在住
	横山 耕平	市内在住
戦争体験者	島津 好江	市内在住
	柴田 フミノ	市内在住

# I 令和4年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の実施状況

## 1 憲法月間記念行事

### (1) 憲法月間記念行事作品募集

内 容：書道、絵手紙・イラスト

応募状況：書道 125点 うち優秀賞2点、特別賞1点、入選15点

絵手紙・イラスト 20点

うち優秀賞2点、入選3点、実行委員会賞1点

表 彰：5月22日（日）記念行事にて、優秀賞4名を表彰

展 示：①市役所ロビー 4月28日（木）～5月10日（火）（全作品）

②スイングホールロビー 5月22日（日）（入賞作品のみ）



（書道・絵手紙 優秀賞作品 4点）

### (2) 憲法月間記念行事講演会

日 時：5月22日（日）午後1時30分～午後4時

場 所：武蔵野スイングホール スカイルーム

内 容：憲法月間記念作品優秀賞 表彰式

映画「第九条」監督トークショー 宮本 正樹 監督

映画「第九条」上映

参加者：53名



(3) 横断幕の掲出

内 容：「憲法を学びみんなで作ろう平和な暮らし」の掲示

日 時：5月2日（月）～31日（火） 市役所

2 夏季平和事業 『戦争も核もない世界を武蔵野から』

(1) 写真パネル展の開催

内 容：広島・長崎の原爆、武蔵野の空襲と中島飛行機

（協力：武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）

①市役所ロビー

日 時：8月5日（金）正午～16日（火）午後5時

②武蔵野プレイスギャラリー

日 時：8月18日（木）正午～19日（金）午後5時

③吉祥寺駅南北自由通路はなこみち

日 時：8月31日（水）午前10時～午後4時

(2) 一般向けイベントの開催

内 容：映画「ヒロシマへの誓い-サーロー節子とともに-」上映会

上映前に武蔵野市の平和施策に関する説明あり（5分程度）

日 時：8月18日（木）午後2時～午後4時

場 所：武蔵野プレイス4階フォーラム

参加者：54名

(3) 子ども向けイベントの開催

内 容：平和に関する絵本と紙芝居の読み聞かせ（協力：桜キッズ）

日 時：8月19日（金）午後2時～午後3時30分

場 所：武蔵野プレイス4階フォーラム

参加者：16名

(4) 横断幕の掲出

内 容：「戦争も核もない世界を武蔵野から

世界連邦に関する宣言 非核都市宣言 宣言自治体 武蔵野市」

日 時：8月1日（月）～31日（水） 市役所、市内3駅前

(5) 市民から寄せられた戦争関連資料展示（協力：延命寺）

内 容：防空頭巾や爆弾の破片、のぼり旗など

日 時：8月2日（火）～31日（水）市役所正面玄関ショーウィンドー



(6) 市報 (特集ページ)

掲載場所：市報 8月1日号 1面

掲載内容：一般向けイベント、子ども向けイベント、パネル展の告知  
青少年平和交流派遣団について、黙とうのお願い

3 市制施行 75 周年記念行事青少年平和交流派遣事業

(1) 結団式

日 時：6月13日 (月)

内 容：団員の自己紹介、事業日程等の説明、参加表明

(2) 事前学習

日 時：6月21日 (火) (第1回事前学習会)

7月17日 (日) (第2回事前学習会)

8月3日 (水) (第3回事前学習会)

内 容：武蔵野市の戦争の歴史(座学、フィールドワーク)、被爆体験者の講話、  
学習発表

(3) 長崎市派遣

日 時：8月8日 (月)～10日 (水)

内 容：1日目 8月8日 (月)

平和公園・原爆落下中心地見学、青少年ピースフォーラム 1日目参加

2日目 8月9日 (火)

平和祈念式典・青少年ピースフォーラム 2日目参加、  
原爆資料館・山王神社見学

3日目 8月10日 (水)

浦上天主堂・グラバー園・城山小学校見学

(4) 事後学習

日 時：8月25日 (木)、11月2日 (水)

内 容：報告書及び報告会打ち合わせ

(5) 報告会

日 時：11月23日 (水・祝)

内 容：平和の日イベントでの青少年平和交流派遣団活動報告

#### 4 武蔵野市市制施行 75 周年記念事業 平和の日イベント

##### 『戦争も核もない世界を武蔵野から』

##### (1) 写真パネル展の開催

内 容：武蔵野の空襲と中島飛行機

(協力：武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会)

##### ①吉祥寺駅南北自由通路はなこみち

日 時：11月12日(土) 午前10時～午後5時

##### ②武蔵野プレイスギャラリー

日 時：11月18日(金) 午前11時～午後5時

##### ③市役所1階ロビー

日 時：11月24日(木) 正午～30日(水) 午後5時

##### (2) 横断幕の掲出

内 容：「平和への願いを込めて 11月24日は武蔵野市平和の日です。」

日 時：11月1日(火)～30日(水) 市役所、市内3駅前

##### (3) 市民から寄せられた戦争関連資料展示(協力：延命寺)

内 容：鉄カブト、のぼり旗、遺族に贈られた証書等

日 時：11月1日(火)～30日(水) 市役所正面玄関ショーウィンドー

##### (4) 市内各コミセンなどにおけるミニミニ空襲パネル展

内 容：中島飛行機武蔵製作所と武蔵野の空襲

日 時：10月11日(火)～11月30日(水) 御殿山コミセン、西部コミセン

##### (5) 図書館での中島飛行機や戦争、平和に関する図書の展示

協 力：公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団

##### ①中央図書館

日 時：11月14日(月)～28日(月)

##### ②吉祥寺図書館

日 時：11月14日(月)～28日(月)

##### ③武蔵野プレイス

日 時：11月19日(土)～28日(月)

(6) 平和の日イベント 講演会

日 時：11月23日（水・祝）午後1時30分～午後3時30分

場 所：武蔵野公会堂ホール

内 容：講演「出会いこそ、生きる力」 講師 サヘル・ローズ氏

参加者：185名



5 実行委員会の開催状況

	日 時	主 な 内 容
第1回	4月20日(水)	実行委員会の運営、実行委員長の選出について
第2回	5月17日(火)	憲法月間記念行事、夏季平和事業について
第3回	6月14日(火)	夏季平和事業、平和の日イベントについて
第4回	7月5日(火)	夏季平和事業、平和の日イベントについて
第5回	9月2日(金)	夏季平和事業、平和の日イベントについて
第6回	10月25日(火)	平和の日イベント、憲法月間記念行事について
第7回	12月8日(木)	平和の日イベント、憲法月間記念行事について
第8回	1月26日(木)	憲法月間記念行事、研修会、市関連施設におけるイベントの日程及び場所について
第9回	3月23日(木)	憲法月間記念行事、夏季平和事業、1年間の振り返りについて

## II 令和4年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に 参加した実行委員からのメッセージ

### 世界連邦運動協会武蔵野支部 中里 崇亮

令和四年度はコロナ禍以降、体験型事業が困難でした。親子向けイベントには五感を通して体験してもらうことが有効だと思います。竈（かまど）や薪を使っての戦時中の食体験やもんぺ姿、鉄兜、防空頭巾、ゲートルなどの服装体験も実感が湧くのではないかと思います。

平和散策マップのおかげで市外の団体や個人、外国人が延命寺の平和観音を見学にきます。戦争体験者が少なくなってきました。私も八十六歳になり、戦争遺品の保存、展示についても良い方法がないかと考えています。市民の方の中にも遺品や写真を持っている話を聞きます。これらのものを市指定有形文化財として保存できないかと真剣に思います。

これまで八月八日が武蔵野最後の空襲とされていますが、「第五小学校の南側にあった東京精密工場が八月十日に空襲を受け炎上した」との記述が井口彦作さんの日記と武蔵野消防署の記録にあります。当時、見に行くと、爆弾の穴はなかったのですが、建物すべてが焼け、コンクリートの土台しか残っていなかったのを覚えています。工場の向かい側に当時住んでいた方によると、この時、工員一人が死んだと父から聞いたとのこと。町場の下請け工場や民家の被害についてはまだまだ疑問が湧き、調べていく必要があると考えています。

### 公募委員 小餅 友子

「新しい戦前にしない」

昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻が起き、戦禍が身近になりましたが、今年は、75年守られてきた日本の平和憲法を改正しようというきな臭い政府の動きが起き、「新しい戦前」という言葉も出てきました。委員会で多くの講演者からこの憲法は押し付けられたものではなく、多くの人の知恵をもとに生まれ、大事なものだ学びました。立憲民主を胸に、唯一の被爆国、平和憲法を持つ国民として、次世代に残すものを間違えないよう、これまでの平穏が保てるよう声を出していきたいと思います。

## 武蔵野市コミュニティ研究連絡会 高橋 淳子

武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に参加して、憲法月間記念行事や夏季平和事業や平和の日のイベントに関わることができました。ありがとうございました。

サヘル・ローズ氏の講演も感動的で、平和に暮らす普通の日々のありがたさを更に実感しました。

初めて参加した研修会では日立航空機(株)変電所や三鷹の掩体壕を見学しました。戦争遺跡を保存すること、次世代に継承していくことの重要な役割を学びました。

これからも平和の尊さを伝える努力をしなければいけないと思いました。

## 武蔵野市市立小中学校PTA連絡協議会 大上 茂雄

2022年度は新型コロナウイルスによる制限も減り、多くの事業ができたのはよかったです。戦時中の食を体験するイベントは他のイベントとは切り口が違い、参加動機を広げる意味でも早く復活できるといいなと思っています。戦争孤児として生きてきたサヘル・ローズさんの講演は忘れることはないでしょう。

世界ではあいかわらずどこかで戦争があり、日本も戦争できる国になる心配があります。また「新しい戦前」という言葉も生まれました。よりいっそう、多くの人が戦争をしない意識を持てるようにあの手この手の平和事業が必要と感じています。

## 大学生 加藤 舞

今年度、平和事業実行委員会に参加させて頂き、誠にありがとうございました。大学生という様々なことに挑戦できる時期に、平和のことについて考え、なおかつ多くの方に知って頂くために多種多様な平和イベントを企画・運営することもでき、大変貴重な経験をさせて頂けたと感じております。

平和事業を通して、私は今までしっかりと平和について考えたことがなかったのだと気付かされたのと同時に、次代を担う世代こそ、平和の大切さを知る必要があるのではないかと思います。今後も次代を担う方々が、私たちのように平和について深く考え、行動できる機会を少しでも得ることができるよう、切に願っております。

## 大学生 中野 綾音

私は大学のボランティア支援センターの紹介で今年度の武蔵野市平和事業実行委員会に参加させていただきました。研修会やイベントのお手伝いに参加させていただく中で、武蔵野市に残る戦争遺跡を訪問し、実際に自分の目で見聞きしたり、サヘル・ローズさんの講演をお聞きすることができ、自分自身にとって忘れられない貴重な経験となりました。この1年間で得ることのできた大切な知識や経験を、これからたくさんの人に共有していきたいと思いました。

## 武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会 牛田 守彦

ロシアによるウクライナ侵攻は、世界だけでなくこの日本にも甚大な影響を与えました。両国の一般市民の平穏な日常が1日も早く回復することを祈ります。しかし、悩ましいのは、世界でも日本でも、武力行使や戦力強化こそ平和実現の現実的方法だとの考えが強まっていることです。また、核抑止力もあたかも必要悪だとの意見が、この日本ですら根強いことです。核廃絶や武力行使を許さない国際秩序を形成する外交努力こそ必要だと思います。そういう平和実現の方途を、深く知り学び、市民に広める必要性を痛感した1年でした。サヘルローズさんのお話ともつながるのではないかと思います。1年間、ありがとうございました。

## 武蔵野市国際交流協会 田村 恭子

令和4年度、前年までの実行委員経験を凌ぐ出来事は「今起こっている戦争」の愚かさを目の当たりにしたことでした。日本では戦争の実体験をもつ方が減る一方、30代のサヘル・ローズさんが語った幼少期のイランでの戦争体験、そしてロシアのウクライナ侵攻と、皮肉にもこの世界の戦争体験者は後を絶ちません。そんな今、平和をテーマに武蔵野市民が応募した40通あまりの絵手紙作品の中に「過去は変えられない。でも未来は変えられる。」という言葉が添えられていました。今ほど、この言葉が響く時はないと思います。平和を願い集った実行委員のお仲間と講演会運営や委員会の意見交換を通じ、お互いの顔が見える「平和な関係」を創れたことに感謝しつつ、これからも足元の小さな平和づくりが大きな波及効果を生むと信じ、可能な活動を続けたいと思います。

### 公募委員 伊東 正晴

この度は、令和4年度の平和事業実行委員会の委員として、貴重な経験をさせて頂きましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。一市民として何らかの貢献ができればと参加しましたが、1年間を終えてみますと貢献に至ることはできなかったというのが率直な感想であり、大変申し訳ないと思っております。振り返りますとウクライナの戦争やコロナ禍により、世界が翻弄され、平和の大切さを痛感する1年となりました。このような中、委員全員の叡智により、サヘル・ローズさん講演会等の開催や旧日立航空機変電所等の戦跡視察など、意義深い活動ができました。今後は、一市民としての関与となりますが、平和事業の発展を心より祈念しております。

### 公募委員 北山 征一

2022年4月からの平和事業実行委員会に公募委員として、この一年を終えるにあたり、今年度も、しっかりとこの事業をやれたかという、イマイチかと思えます。健康的には、コロナとかきびしい状況でしたが、何とかまぬがれて、今日まで元気に過ごせたかと思えますが、落ちついてきて、かなり制約がなく多くの事業が3年前と同じくできるよう、特に私にとっても東大和市の変電所の戦争跡をバスで研修ができ、三鷹の高射砲跡地とか、生で見られたことが良かったと思えます。

公募委員も長いので、そろそろ若手の方に引き継がねばと思っておりますが、もっとレジェンドの方々のお話を聴きたいが、多くの若い人へ、むさしのの平和を知ってもらうため、譲りたい！でも、もう一年は頑張りたいと思えます。よろしく申し上げます。

### 公募委員 栗原 久仁子

委員に初めて参加させて頂きました。戦争や被爆の実相や武蔵野市の歴史を学び平和について深く考えるが出来ました。

武蔵野中央公園に中島飛行機武蔵製作所があり自分の住む町に戦争があった事をリアルに実感しました。

夏季平和事業のイベント映画「ヒロシマへの誓い サーロー節子とともに」は衝撃的で感動しました。

戦争も核もない世界の意味がより深く心底実感出来ました。

冬の平和の日イベントでは武蔵野公会堂で青少年交流派遣団の報告会とサヘル・ローズ氏の講演の司会の大役を未熟ながらも努める事が出来人生の良き体験になりました。

最後に実行委員会の皆様一年間ありがとうございました。

又参加させて頂く機会がありました時は宜しく願い致します。

### 公募委員 横山 耕平

最初に、この一年間委員として参加させて頂き、大変感謝しております。たくさん勉強になることがあり、貴重な時間を過ごすことが出来ました。

委員会メンバーも、ベテランと新人とがバランスよく構成されており、会議ごとに活発な意見交換が出来たように思います。

人間は言葉でコミュニケーションできる唯一の存在です。武器でなく言葉を、武力でなく対話を、暴力でなく愛を、争いでなく友情を。こうしたことを大切にしながら「平和」の価値を胸に刻みたいと思います。

我々は、『微力かもしれないけど決して無力ではない』との信念を強く確信した一年間でした。

### 公募委員 島津 好江

振り返って、団体の代表と一般の希望者のメンバー十六名で成り立って、戦争体験者（太平洋戦争）は委員の中でも少なくなりました。私もこの戦争体験者の一人です。メンバーも戦争を知らない若い方が多くなりました。若い方が次の若い方に戦争の恐ろしさを伝えていただきたいと思います。

この武蔵野市役所も、戦時中は東洋一番に大きな中島飛行機武蔵製作所がありました。市民の人たちにも知って頂きたいと思います。平和をみんなで守ります。



## **武蔵野市非核都市宣言**

戦争の惨禍を防止し、恒久平和を実現することは、全人類が切実に念願するところである。

核兵器保有国間で核軍拡競争が激化している今日、とりわけ核戦争を回避し、原水爆の恐れのない世界を確立することは、緊急かつ重大な課題である。

武蔵野市は、平和を希求する世界連邦に関する宣言都市として、人間が人間を滅ぼす危険を防ぎ、人類永遠の平和を樹立するため、非核三原則の完全実施を願い、最大限の努力を傾注するものである。

ここに、われわれは、平和のために貢献する決意を表明するとともに、武蔵野市が非核都市となることを宣言する。

昭和 57 年 3 月 29 日

武蔵野市議会

## 世界連邦に関する宣言

武蔵野市は、世界の恒久平和と人類永遠の繁栄を保障する世界連邦の建設に同意し、武力国家の対立を解消して、英知と友愛に基づく世界の新しい秩序の実現を希求する。人類最初の原爆被災国として、また戦争放棄を憲法に明記した国として提唱し得る最適の立場にあることを確信し、この宣言を行ない、他の宣言都市と相携えて、世論を喚起し、これを国政に反映せしめ、速やかに国家宣言を行うと共に、進んで現行の国連憲章の改正により世界連邦の実現を期するものである。右宣言する。

昭和 35 年 6 月 28 日

武蔵野市議会



令和4年度

武蔵野市非核都市宣言平和事業の記録

発行 令和5年7月

武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会

武蔵野市市民部市民活動推進課内

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)